



桶川市議会議員 山中 敏正

やまなか としまさ

- 総務常任委員会 委員長
- 議会運営委員会
- 川島桶川資源循環組合議会

後援会だより Vol.31 令和8年4月号

発行：山中敏正後援会 発行責任者：山中敏正

〒363-0027
桶川市川田谷2290-1
TEL：048-787-3796
FAX：048-782-6885
https://www.yamanaka-toshimasa.com/



桶川市
マスコットキャラクター
「オケちゃん」

「安心できるまちづくり 活動宣言」からの

『共に創る未来の埼玉』

～ 働く力と育てる力を強くする県政の実現～

将来を見据えた埼玉県の取り組みと、桶川市が目指すまちづくりは同じ方向性を持って施策を進めていくことが地域の持続可能な発展のために大変重要です。明るく暮らしやすい桶川に向けてこれからも取り組んでまいります。

埼玉県では、令和4年度からの5年間に取り組む施策の体系を明らかにした県政運営の基礎となる埼玉県5か年計画（令和4年度～令和8年度）を策定しています。

地域別施策

● 3ゾーンと10地域区分

都心からの距離に応じた県南・圏央道・県北の3つのゾーンと、県民の生活圏としての一体性などから10の地域に区分し、特性や課題に応じた施策を展開しています。

→ 桶川市は圏央道ゾーンの県央地域に区分されています。

県央地域の現状と課題

鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町

県のほぼ中央部に位置し、都心から35～50km圏にあります。

県央地域は、人口52万9千人（令和2年（2020年））、県人口の7.2%を占めると推計されており、20代が転出超過となっています。

令和22年（2040年）までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は約20%に達する見込みです。

圏央道や国道17号上尾道路の開通により、産業の集積が進んでいます。

雇用の創出や就業の支援が必要

高齢者を支える体制の充実

交通利便性の向上を生かした企業立地の促進により、地域経済の活力を高める

地域別施策

県内各地域の特性を生かし、市町村と連携した施策を展開

■ 3つのゾーンと10の地域区分



県南ゾーン（都心から10～30km）

若年世代の転入超過、高齢者の急増

子育て支援・高齢者を支える体制強化

圏央道ゾーン（都心から30～60km）

20代を中心に転出超過

企業立地の進展などによる雇用創出

県北ゾーン（都心から60km以上）

高齢化が最も進行、出生数の減少

地域資源を生かした交流人口・関係人口拡大

※ 埼玉県5か年計画より抜粋

桶川市では、第6次総合計画の基本構想を、2023年度から2032年度までの10年間を計画期間としています。

● 土地利用の方向性

圏央道インターチェンジの周辺地域の一部を『複合開発エリア』と位置づけ、産業施設の立地誘導を図るとなっています。

産業施設の誘致による効果

- 地域経済の活性化
- 新規雇用の創出
- 税収の増加
- 人口流入の促進 など、多岐にわたる好影響をもたらします。

企業誘致への活用として

『地域未来投資促進法*』は、桶川市の企業誘致に向けて効果的に活用できるものと考えます。

* 地域未来投資促進法は、地域の特性を活かした事業を支援し、地域経済を活性化させるための法律です。

この法律を活用すると主に、税制による支援措置・金融による支援措置・予算による支援措置・規制の特例措置等、4つのメリットがあります。

一般質問より桶川市へ提案及び提言の成果

市内小学校における水泳授業の民間委託について

令和7年12月定例会の一般質問で、『プール民間委託』への考えを伺った。

令和8年度より、プール授業について、民間施設の活用を小学校へも段階的に拡大する運びとなりました。令和8年度は、加納小学校・川田谷小学校の全学年の児童を対象に実施する。

※令和9年度以降、順次拡大を予定しています。

民間委託のメリット

●計画的な学習が可能

民間委託の場合は屋内施設のため、季節や天候に左右されず年間を通して計画的に学習ができる。

●レベルに応じた指導が可能

専門的な指導者のもとレベルに応じた指導が可能。

●衛生管理が容易

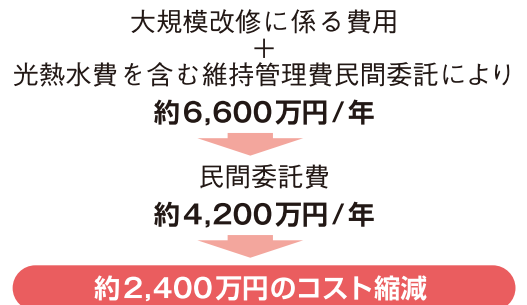
スイミングスクールのため塩素濃度など、水質や水温を一定に保つことができる。

●学校職員の負担軽減

学校職員によるプールの維持管理や安全管理の時間等を他の業務に当てることができる。また、施設の維持管理に必要な費用を抑えることができる。

コスト

●プール更新に係る費用と民間委託した際のコスト比較【小学校7校分】



学校におけるフッ化物洗口について

次に、『フッ化物洗口への取組と効果』について伺った。

- ▶ 桶川東中学校では、令和5年の3学期より実施しています。
- ▶ 令和6年度と令和7年度ともに7割強の生徒が実施している。
- ▶ 図に示した通り、2学年、3学年において「むし歯保有者の割合」が減少しています。

開始時期と継続期間の考え

厚生労働省が示す「フッ化物洗口マニュアル」によると、4歳頃から14歳頃まで継続実施すると、高いむし歯予防効果が得られるとされています。

効果

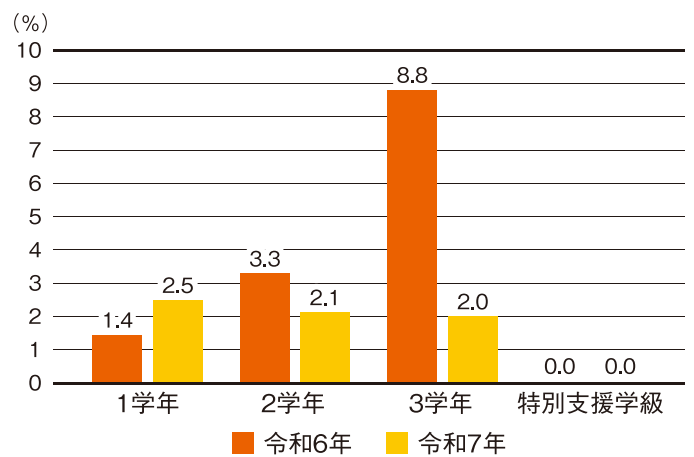
継続的に行うことは、将来的な歯科医療費の抑制と、病気の予防に大きな効果が期待できます。

●実施に向けた今後の方向性

桶川中、桶川西中、加納中学校では学校歯科医との連携のもと、関係者間の調整、保護者説明会の開催等を行っています。

令和8年度から市内4中学校すべてで、希望者に対するフッ化物洗口事業の実施に向けて準備を進めています。

■桶川東中学校におけるむし歯保有者の割合



安心できるまちづくり活動報告

PICKUP 路面の老朽化による舗装復旧

桶川市内の市道71号線は、舗装の経年劣化によるひび割れや段差等、破損が進んでいたため車両通行時の振動や、つまづき転倒によるけがの危険性がありました。地域の皆さんの生活道路として、安全確保は非常に重要です。

今回施工したことで、安全性・快適性・耐久性の向上がはかられました。

